

# 牛久市(うしくし)

	〒 300-1292 〈住所〉牛久市中央三丁目15番地1 〈TEL〉029-873-2111 〈FAX〉029-873-7510 〈HP〉http://www.city.ushiku.lg.jp 〈e-mail〉webmas@city.ushiku.ibaraki.jp	地域指定 近郊整備	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 税滞納整理 利根川水系流域の水防 消防救急 上水道 し尿処理 火葬場 斎場 下水道使用料徴収 養護老人ホーム 老人福祉センター 共同研修	公営企業 法非適用(公共下水道 宅造 市場)
	類型 II-1 地方公共団体コード 082198 面積 58.88 km <sup>2</sup>			

## <行政組織>

### ①長等(平成25年5月1日現在)

長	いけのべ かつゆき 池邊 勝幸 (63歳)	任期	平成27年10月2日
副市長	野口 憲	就任回数	3期目

### ②議会(平成25年5月20日現在)

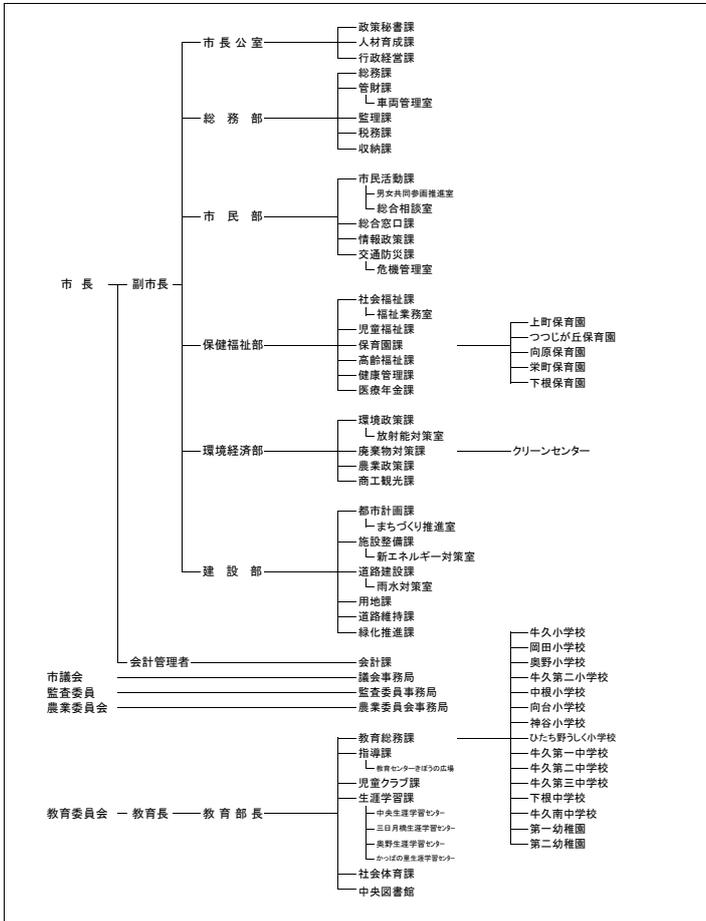
議長	山越 守	副議長	板倉 香
任期	平成27年4月29日	条例定数	22人
党派別	公明3人, 共産3人, 民主1人, 新社会1人, みんな1人, 無所属13人	現議員数	22人

### ③職員数(平成24年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
360	334	286	26
一般行政職の平均給料月額	3,460 百円	ラスパイレシ指数 104.1	参考値 ※ 96.2
全職員数の推移	平成21年4月1日	平成22年4月1日	平成23年4月1日
	394	386	375

※ 参考値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置がないとした場合の値

### ④機構図(平成25年4月1日現在)



## <概要>

### ①沿革

昭和29年1月 牛久村が牛久町となる  
 昭和29年4月1日 牛久町と岡田村が合体  
 昭和30年2月10日 編入 野村  
 昭和32年7月1日 編入 阿見町大字福田の一部  
 昭和61年6月1日 市制施行

### ②地勢・風土等

牛久市は東京から50km、県南部に位置し、東西14.5km、南北10.7kmの広がりを持っており、鼓のような形態となっている。市の中央部を流れる小野川周辺及び南西側の牛久沼周辺は低地部となっており、その他の地域は関東ローマ層の稲敷台地部によって形成されている。また、市内を国道6号線と常磐線が縦貫し、東西に首都圏中央連絡自動車道と国道408号線が通過しており、その地の利を生かした街づくりを進めている。特に、東部地区は、農地の保全・活用とともに2つの工業団地を有し、流通・工業ゾーンとしての位置付けがなされており、駅周辺の中心市街地とともに、市民と行政が一体となった魅力ある街づくりに取り組んでいる。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成25年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	36,390	38,339	40,803	41,328
	女	36,868	38,884	40,881	41,716
	合計	73,258	77,223	81,684	83,044
世帯数	24,763	27,917	31,569	32,775	

### ④有権者数(平成25年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 31.1%
	33,304	34,028	67,332	

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成22年度)

市町村内総生産	1,988 億円	就業者1人当り	7,643 千円
住民所得	2,368 億円	人口1人当り	2,899 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(平成22年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	1,640	0.8%	773	2.0%
第2次	60,290	30.3%	9,391	24.6%
第3次	135,861	68.3%	26,265	68.9%
総額・総数	198,811	—	38,111	—

### ③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	792	144	882
製造業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H23.1.1~12.31)
	58	3,491	156,904
卸・小売業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	598	5,715	104,114

### ④特産物

落花生, 大根, すいか, 白菜, さつまい芋, 小菊

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成22年度決算	平成23年度決算	増減率
歳入	23,119,990	25,607,729	10.8
歳出	21,890,323	23,841,916	8.9
形式収支	1,229,667	1,765,813	-
実質収支	524,517	669,558	-
単年度収支	△ 85,843	145,041	-
実質単年度収支	197,435	280,850	-

②主な歳入・歳出(平成23年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	25,608	-	2,488	10.8
地方税	11,648	45.5	90	0.8
地方交付税	1,925	7.5	523	37.3
国庫支出金	3,472	13.6	557	19.1
地方債	2,275	8.9	820	56.4
うち臨財債費	1,285	5.0	-	-
その他	6,288	24.6	-	-
うち繰入金	795	3.1	-	-
<b>歳出</b>	23,842	-	1,952	8.9
義務的経費	11,054	46.4	608	5.8
人件費	4,262	17.9	74	1.8
扶助費	4,275	17.9	472	12.4
公債費	2,517	10.6	62	2.5
投資的経費	3,270	13.7	-	-
普通建設事業費	2,894	12.1	751	35.1
うち補助	2,084	8.7	592	39.7
うち単独	810	3.4	159	24.5
その他の経費	9,518	39.9	-	-
うち繰出金	2,340	9.8	-	-

③主要指標(平成23年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	-	% ( 12.83 )
連結実質赤字比率	-	% ( 17.83 )
実質公債費比率	6.2	% (25.0) [10.4]
将来負担比率	-	% (350.0) [63.6]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成22年度～平成24年度)	0.882	[0.693]
経常収支比率	90.4	% [88.0]
標準財政規模(平成24年度)	14,444	百万円 [14,930]
地方債現在高(A)	21,966	百万円 [22,514]
債務負担行為支出予定額(B)	3,389	百万円 [2,886]
積立金現在高(C)	5,663	百万円 [5,921]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	19,692	百万円 [19,479]

※1 ( )は早期健全化基準, [ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成23年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	5,443,351 ( 41.9 )	4,873,043 ( 41.8 )	89.5 [89.5]
市町村民税・法人 (構成比)	649,675 ( 5.0 )	619,902 ( 5.3 )	95.4 [97.8]
固定資産税 (構成比)	5,300,800 ( 40.8 )	4,743,152 ( 40.7 )	89.5 [89.4]
市町村税合計 (国保除く)	12,983,034	11,647,857	89.7 [90.5]

<公共施設整備状況>(平成23年度) ※のみ平成24年度

小学校 ※	8 校	プール	2 か所
中学校 ※	5 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※	8 園	老人福祉施設	21 か所
保育所	12 か所	病院・一般診療所	56 か所
図書館	1 か所	道路改良率	56.9 %
公営住宅	313 戸	道路舗装率	67.8 %
公民館等	4 か所	上水道等普及率	88.1 %
体育館	1 か所	汚水処理普及率	92.1 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
リフレプラザ駐車場整備	H25	リフレプラザの駐車場用地を取得する	433
民間保育園の建設支援	H25	市内に建設予定の民間保育園(3園)の建設に対する補助を実施	449
医療福祉費支給制度(マル福の拡大)	H24～	平成24年度より小児外来の対象を中学3年生まで拡大し、さらに、所得制限の撤廃や妊産婦の対象疾病の拡大等にも引き続き取り組む。	1,016
放射能対策事業	H23～	市内公園、学校等の除染を実施するとともに、放射能測定器の市民への貸し出しや、ホールボディカウンター検査を実施する。	263
市道23号線(北側延伸第二工区)を改良舗装する	H25～H28	市道23号線の北側延伸分第二工区を整備し、早期開通を目指す。	1,400

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・超高齢社会の進展に伴う税収減・扶助費の増に対応した財政運営。
  - ・バイオマスタウン構想による地域循環型社会の構築
  - ・ワインビレッジ構想に基づく牛久駅周辺の活性化
  - ・雨水対策事業の推進
  - ・行財政改革の推進と中期財政計画に基づく事業展開
- <特色ある行政>
- ・自然との調和と共存を目指したスローシティのまちづくり
  - ・小学校区単位での地区社協の設立
  - ・各種予防接種への助成
  - ・小学校空き教室を利用した保育園の運営
  - ・学校教育と連携した児童クラブの運営
  - ・非常勤一般職の月額報酬制の導入
  - ・耕作放棄地の解消
  - ・放射能汚染に対するホールボディカウンター検査等の実施
  - ・公共施設への太陽光発電設備の整備